



いしおかブロック保育研究委員会

一部抜粋

…

今回は「人間関係」についてです。前回で取り上げた「健康な心と体の土台」ができてくると、友達との関わりも増えてきます。同時に、ぶつかり合う経験をしたりくやしい思いを抱くこともあるでしょう。しかしその経験を通し、自分の気持ちを調整する力や人への思いやりの気持ちなども育っていくのです。人とつながれる子になる為に親ができることを一緒に考えてみましょう。



人とつながれる子になる為に

こんな事で悩んでませんか？

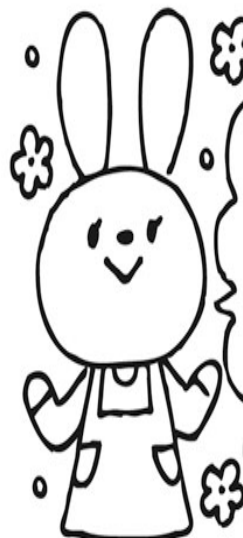
- うちの子は引っ込み思案なんです。
- 思い通りにならないとすぐキレてしまいます。
- ◎ 友達の話を聞けなくて困ってます。

- 「〇〇ちゃんいれて？」という最初のひとことが、なかなか言えない子もいます。お子さんに「お母さんはお友達の役になるから「仲間にいれて？」の練習をしてみない？」と提案してみるのはいかがでしょうか。「かして」「いいよ」「見せて」「いいよ」と関わり合いを楽しんでみてください。
- ◎ キレた時は頭ごなしに、怒るのではなく、「どうしたかったの？」「どうしてもらいたかったの？」と優しく聞いてみてください。お子さんの気持ちを受け止めながら一緒にどうすれば良かったか考え、答えをみつけられるように関わってあげられるといいですね。
- ◎ お子さんの話を最後まで聞いてますか？親に自分の話を最後まで聞いてもらえる子どもは嬉しい気持ちになりますよね。そうすると友達の話もよく聞けるようになります。お子さんの話を最後まで聞いてあげてください。



小学生になるまでに
こんなことできたらいいな…

- お家の人や友達、先生に元気よく挨拶をする。



頑張るお父さん、お母さんへ

わが子のことで直撃になってしまった夜。。

仲良くなれる魔法の言葉

次の朝「おはよう」「いってらっしゃい」「いってきます」と心から言ってみる。おまじないに、1日を元気にスタートでき、自分も相手も気持ちも軽くなることでしょう。